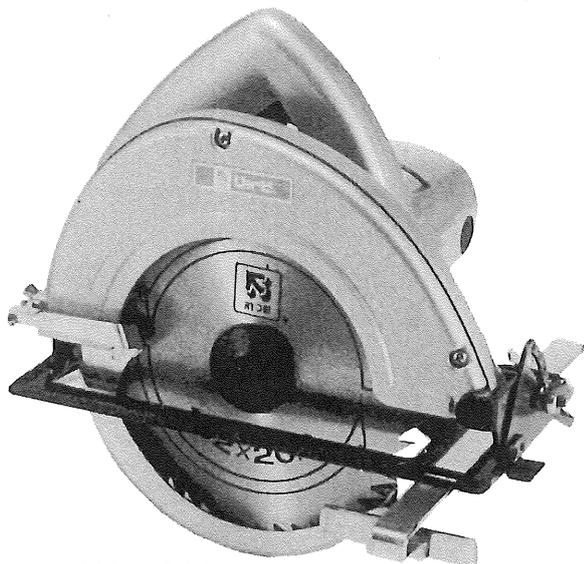


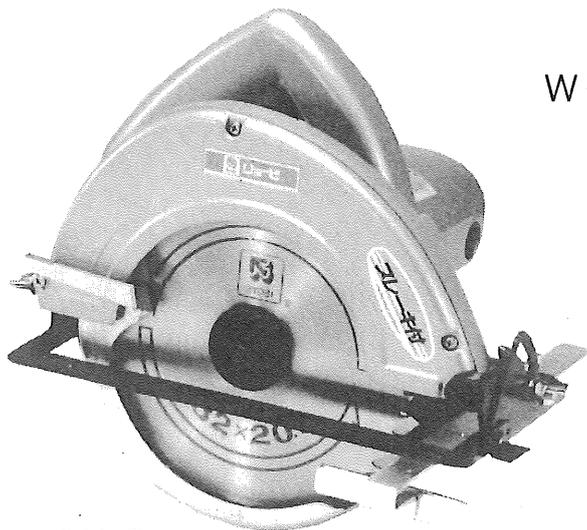
電気丸ノコ

ブレーキ付丸ノコ

W-651 W-651S 取扱説明書



W-651



W-651S

●特長

- 鋸刃交換用レバーの採用によりスパナ1本です早く鋸刃の交換を行なえます。
- 片手作業に最適なハンドル形状は作業能率を向上させ疲れを感じさせません。
- 強力モーターに強力なねばりが加わり、負荷に強く、厚板も軽く切断出来ます。
- 丈夫な定盤の採用により正確な切断を行なえます。
- スイッチを切ると瞬時に鋸刃が停止するブレーキ機構の採用により、安全に対する信頼は抜群です。
(W-651S)
- 内フランジを逆向けにつける事により内径19 ϕ の丸鋸刃が使用出来ます。

●用途

- 各種木材の切断
- 石材、ブロック、レンガ、タイル、スレート等の切断(特別附属品、非金属用切断砥石使用)
- 鉄、アルミニウム、ステンレス等の切断(特別附属品、金属用切断砥石使用)
- 薄鉄板(トタン等)の切断(特別附属品、薄鉄板丸鋸使用)
- 合成樹脂、ベニヤ(合板)、プラスチック、硬木などの切断(特別附属品、新建材用丸鋸使用)
- 薄物アルミ板の切断(特別附属品、アルミ切断用丸鋸使用)

●仕様

	W-651	W-651S ブレーキ付
電 圧 V	100	100
電 流 A	11A	11A
回転数 R.P.M.	4500	4500
最大切込深さ mm	65	65
傾斜角度	0~45°	0~45°
丸鋸寸法 mm	182	182
重 量 kg	3.7	3.7

※W-651(S)は丸ノコ径が最大 185mmまで使用出来ます。

●通常附属品

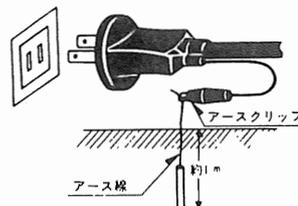
丸鋸刃(Ø182×Ø20)、ソーガイドフェンス、ボックススパナ

●ご使用に当たりますの注意事項

本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

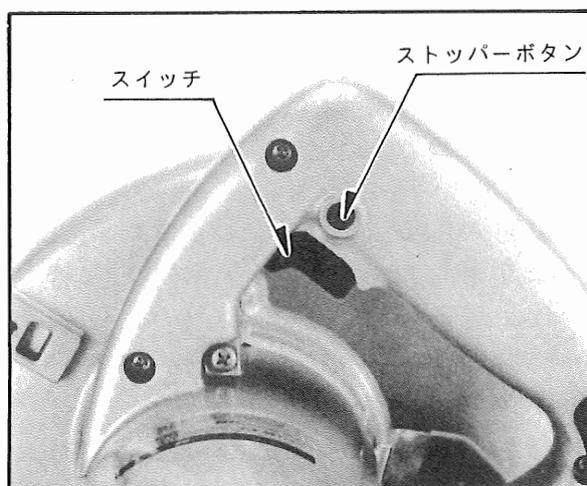
- さし込みプラグを電源に接続する前に丸鋸刃は使用説明書に従って正しく、しっかりと締付けられているか確認して下さい。
- 安全カバーを固定して使うことは危険ですので絶対に固定しないで下さい。
- 安全カバーは身体が鋸刃に触れるのを防ぐものです。必ず鋸刃を覆い、円滑に動くことを確認してからお使い下さい。
- 材料に釘などの異物がないことを確認して下さい。異物があれば鋸刃が破損することがあり危険です。
- 切断ライン上からコードは離れた位置にあることを確認して下さい。誤ってコードを切断しますと感電の恐れがあります。
- 工具の掃除や、切込み深さ調整、角度の調整、整備点検、部品の交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足になります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 運転中は鋸刃及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。鋸刃は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。

- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理し、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には、作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻き込まれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴をはいて下さい。
- 本機はお子様の手の届かない所に保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたるところは避けて下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用後及び停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には直ちに使用を中止して下さい。
- 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。ほこりの多い作業にはマスクが必要です。
- 感電事故を防止する為にアースクリップを接地して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と、定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和各営業所にお問い合わせ下さい。



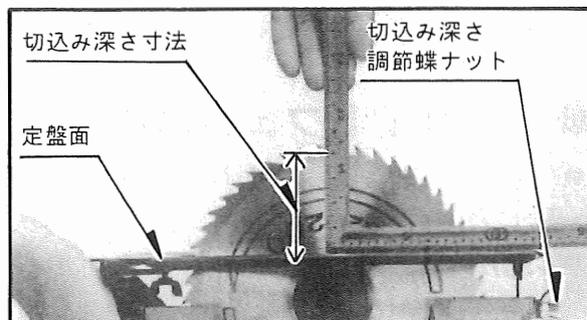
● スイッチ

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。又、スイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパーボタンを押すと、スイッチより指を離してもスイッチは入ったままになります。この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンが外れ、スイッチは切れます。連続ご使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。
- W-651S はスイッチを切ると瞬時に丸鋸刃が停止するブレーキ付となっております。



● 切込み深さの調節

- 切込み深さ調節蝶ナットをゆるめると定盤が上下に移動します。
- お望みの切込み深さに位置を決め、



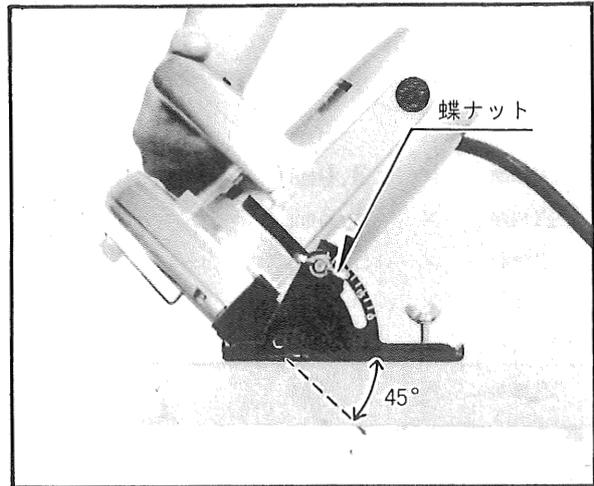
切込み深さを調整する際、蝶ナットをしっかりと締付けて固定して下さい。

- 切込み深さ寸法は定盤面から出ている丸鋸刃の寸法を測って決めます。



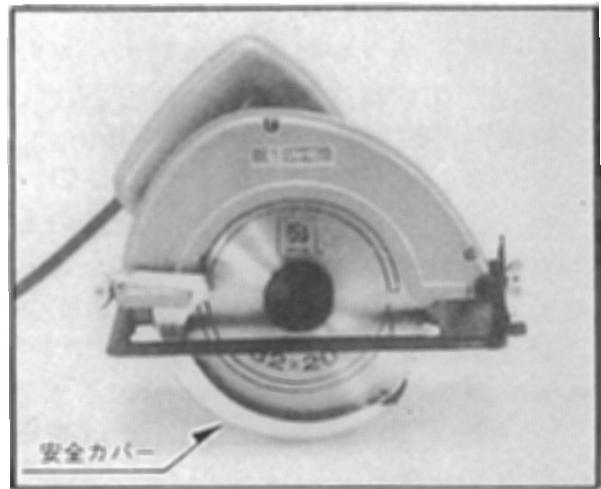
● 傾斜角の調整

- 傾斜目盛の蝶ナットをゆるめ調節します。
- 鋸刃は 0°～45度まで傾けて切断することができます。
- 傾斜角度を決めたら必ず蝶ナットを締付けて固定して下さい。



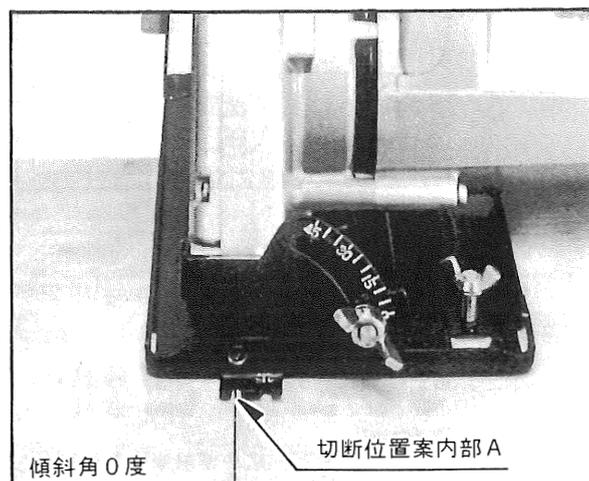
● 安全カバー

- 事故を未然に防ぐため、安全カバーを付けてあります。
- 安全カバーは作業中に自動的に持ち上がり、作業が終わる時は自動的に丸鋸刃を覆いますので安全に作業を行なえます。

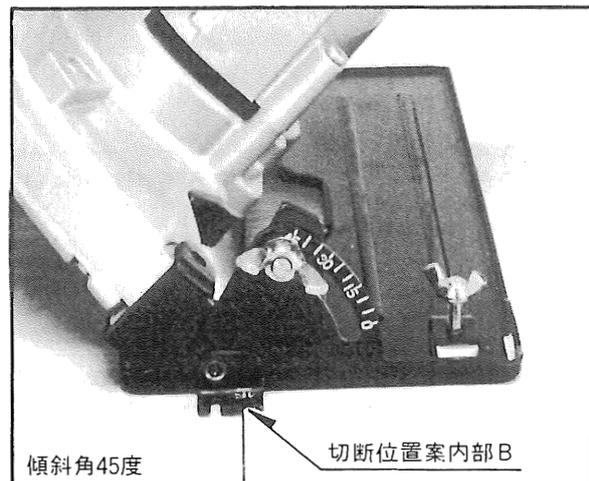


● 切断位置

- 傾斜角 0 度の場合は定盤先端の切断位置案内内部(Aの位置)を墨打線に沿わせて加工して下さい。



- 傾斜角 45 度の場合、B の位置を墨打線に合わせて下さい。



● 鋸刃の取付け・取外し

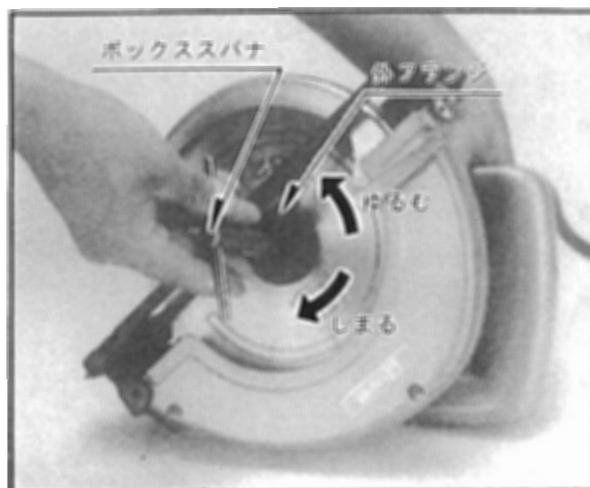
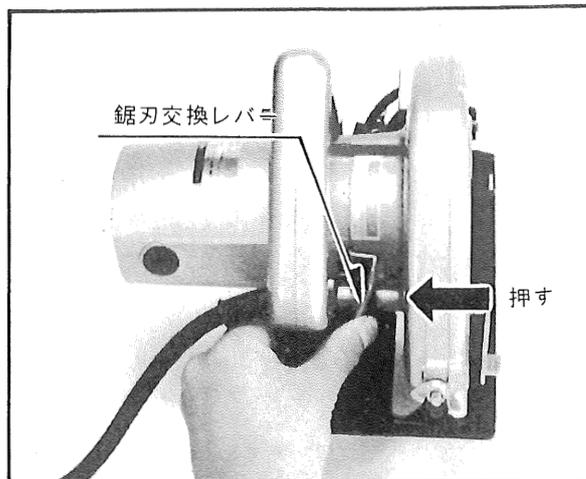
万一の事故に備えて必ず差し込みプラグを電源から外して下さい。

(取外し)

- 鋸刃交換用レバーを押さえた状態で丸鋸刃が固定されるまでゆっくりと丸鋸刃を手で回転させて下さい。
- 附属品のボックススパナで六角ボルトをゆるめます。
- 安全カバーをセフティーガードに沿わせて移動させます。
- 六角ボルト、外フランジ、丸鋸刃の順で取外します。
- 取付けは取外しの逆要領で行って下さい。

※内径19φの丸鋸刃を使用される場合には、内フランジを逆向きにつけてご使用下さい。

(注)鋸刃が回転中には、鋸刃交換用レバーを押さないで下さい。

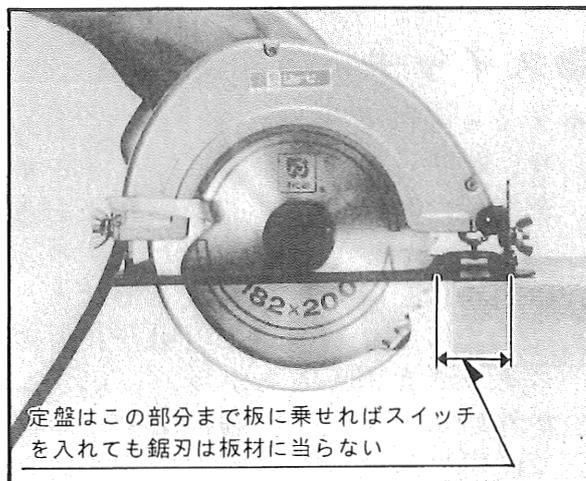


● 切断の要領

- 木材の上に定盤面をのせ、鋸刃が木材に触れない状態でスイッチを入れます。
- 鋸刃の回転が上がり、一定の回転になりましたら定盤面を木材に密着させ、静かに前方へ押し進め、切断を行ないます。

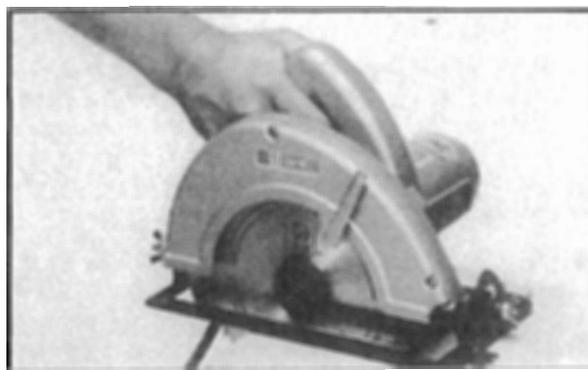
(作業のコツ)

- ひき肌を一樣にする為には進め方を一定の速さに保つことが大切です。
- 材料の質に合った送り速度で切断作業を行って下さい。

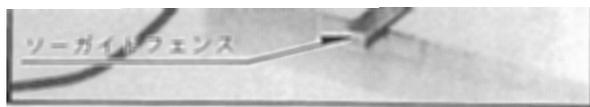


● ソーガイドフェンスの応用

- 墨打の必要がなく同寸法の加工が連続に出来ます。
- 切断巾寸法は丸鋸刃とソーガイドフェンスの案内面までの寸法によって



- ソーガイドフェンスは左右どちらにでも付けられます。

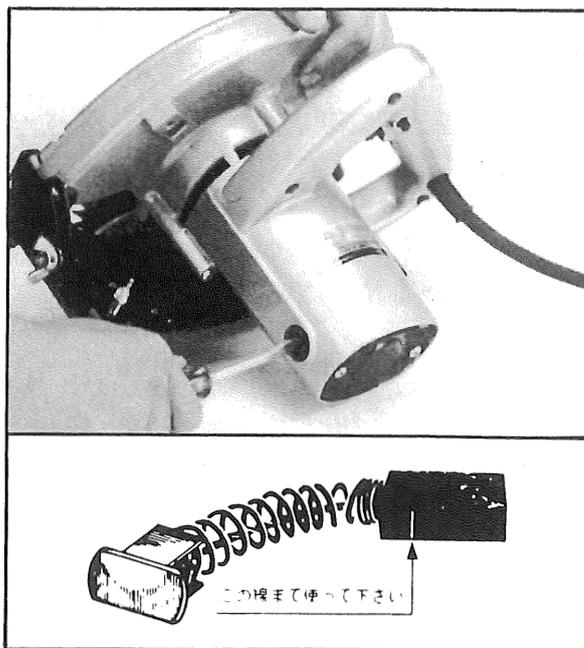


●特別附属品(別販売)

- | | | |
|-----------------------|------------------------|------------------------|
| ●ミゾホリカッター
(内径) (巾) | ●チップソー
(内径) (外径) | ●薄鉄板用丸鋸
(内径) (外径) |
| 20mm × 3mm | 20mm × 182mm | 20mm × 160mm |
| 20mm × 3.9mm | ●非金属用切断砥石
(内径) (外径) | ●新建材用丸鋸
(内径) (外径) |
| 20mm × 4.5mm | 20mm × 180mm | 20mm × 160mm |
| 20mm × 5.5mm | ●金属用切断砥石
(内径) (外径) | ●アルミ切断用丸鋸
(内径) (外径) |
| 20mm × 6mm | 20mm × 180mm | 20mm × 160mm |
| 20mm × 7.5mm | | |
| 20mm × 9mm | | |
- ベンチスタンド

●保守と点検

- カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長の $\frac{1}{3}$ (線の入った位置)程度に摩耗しましたら新しいカーボンブラシと交換して下さい。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
- カーボンブラシはブラシキャップをマイナスドライバーで取外せば簡単に取出せます。



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和各営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

検査合格証

●この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です

電気試験	機械検査	部品・包装
吉富	岡田	橋川

発売元



〒464 名古屋市千種区春岡通り7-49
電話(052)761-5111

製造元



〒726 広島県府中市目崎町762
電話(0847)41-4111